



能代高校東京同窓会会報 第14号

奮え松陵、我が健児

発行：能代高校東京同窓会
 発行人：会長 島 豊彦
 編集人：副会長 小林 武廣
 電話：045-227-7550
 E-mail：BRB06442@nifty.ne.jp

平成16年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】平成16年10月2日(土)

□受付 13:30～

□講演会 14:00～15:00 建築家 納谷 学氏
 納谷 新氏

□総会 15:15～16:00

□懇親会 16:10～17:30

【場所】アルカディア市ケ谷(私学会館)

JR市ケ谷駅下車、地下鉄新宿線、有楽町線(A1-1、A4

出口)南北線(A1-1出口)市ケ谷駅下車3分

TEL 03-3261-9921

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

【懇親会会費】7,000円 女性 5,000円
 学生 2,000円

【年会費】3,000円(年会費をお振込みいただいた方を除き、当日受付にて受領いたします)

【出欠ハガキ】出席するか否か、住所・氏名等を、同封ハガキに記入して9月20日までに投函してください。出席の連絡、又は本会についての問い合わせは、次の電話、FAX、またはe-mailでもできます。

電話 045-227-7550 FAX 045-227-7570

BRB06442@nifty.ne.jp

島特許事務所内 能代高校東京同窓会事務局

2004年 総会アトラクション・講演会



講師：納谷 学(49期)

納谷学(なや・まなぶ)氏略歴

1961年 秋田県能代市生まれ

1979年 能代高等学校卒業

1985年 芝浦工業大学卒業

1985年 黒川雅之建築設計事務所勤務

1987～88年 野沢正光建築工房勤務

1993年 納谷建築設計事務所設立



講師：納谷 新(54期)

納谷新(なや・あらた)氏略歴

1966年 秋田県能代市生まれ

1984年 能代高等学校卒業

1991年 芝浦工業大学卒業

1991～93年 山本理頭設計工場勤務

1993年 納谷建築設計事務所設立

©アラタジュン

新進気鋭の若き建築家と呼ぶにふさわしい建築デザイナーが、自分たちの手がけた作品を投影しながら建築設計への熱い思いを語ってくれます。11年前に独立して二人で設計事務所を設立してから、2000年に至り立て続けに設計コンペで入賞して脚光を浴びてきました。個人住宅から店舗、集合住宅、リフォーム、プロジェクトと幅広く、施主の希望に合致した新しい居住空間作りを目指しています。最近の建築雑誌や新聞でも多く取り上げられている働き盛りの兄弟同窓生が、新しいモノの創作について爽やかに語ってくれることが期待されます。

主な受賞歴 2000年 あたかな住空間コンペリフォームの部最優秀賞(s-tube)・住宅建築賞奨励賞(s-tube) / 2001年 グッドデザイン賞(宝珠楼)・(イギリス)ar+d賞入賞(宝珠楼) / 2002年 JCD デザイン賞入賞(宝珠楼)・インテリアプランニング賞最優秀賞(403号室) / 2003年 日本建築士会連合会奨励賞(宝珠楼) / 2004年 あたかな住空間コンペ新築の部入賞(teshihouse)・(イタリア)デダロ・ミノス国際賞2004作品選賞(宝珠楼)

幹事会ニュース (16年度活動記録から)

- 平成15年10月19日(日)東京八竜会 2名出席 ●平成15年11月16日(日)関東琴丘会 1名出席 ●平成15年11月25日(水)幹事会(忘年会) 於・富士通築地クラブ ●平成15年11月27日(木)秋高連役員会 1名出席 ●平成16年1月22日(木)在京秋田県人会新春交歓会 1名出席 ●平成16年1月23日(金)能代高校同窓会新年会 於・金男 3名出席 ●平成16年2月25日(火)幹事会 於・東映会館 11名出席 ●平成16年3月30日(火)秋高連委員会 2名出席 於・理窓会館 ●平成16年4月20日(火)幹事会 於・東映会館 14名出席 ●平成16年5月23日(日)能代西高東雲会 於・アルカディア 3名出席 ●平成16年6月1日(火)協賛広告依頼状発送作業 於・小林税務事務所 ●平成16年6月6日(日)東京八森会 於・新宿ワシントンホテル 3名出席 東京鳳鳴会 於・京王プラザホテル 2名出席 ●平成16年6月22日(火)幹事会 於・アルカディア 14名出席 ●平成16年7月4日(日)東京山本会 於・アルカディア 2名出席 ●平成16年7月9日(金)事務局会議 於・島特許事務所 ●平成16年7月29日(木)秋高連総会 於・グランドヒル市ケ谷 8名出席

- 主要紙面案内
- 2面 島会長・菊谷校長挨拶
 - 4面 盛り上がった総会・懇親会
 - 6面 我らが同期会
 - 8面 ーこれからの東京同窓会ー
 - 13面 能代の名前が消えそうです
 - 15面 決算報告書・他
 - 16面 出席者・会費納入者名簿

組織力を伴った同窓会に

能代高校東京同窓会会長 畠 豊彦



平成16年度総会・懇親会の時期にあたり、本年も各会員をはじめ各方面からご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

私は3期目の任期の途中に当たりますが、本会の運営等について改めて所感を述べます。本会は基本的にはまだまだ足腰が弱くひ弱い体質から抜け出していない状態にあります。伝統のある大館鳳鳴高、秋工高、秋商高などの東京同窓会を見習い、骨格のしっかりした強い足腰を作り会員の増加を図ることが急務であると考えます。100名に満たない総会出席会員を150名とし、130名に満たない年会費納入会員を200名とすることが運営資金等の面からの目標であります。年間予算額で170～190万円程度の運営資金の調達に苦慮しながら活動を続けているのは他校同窓会と同じことでしょうか、会員の増加と資金の増収を図ることは同窓会の永遠の課題でしょう。しかし、その課題を解決してゆく土台は、同期会幹事をベースとした幹事会、役員会、事務局の3組織が総合された組織力ではありますが、残念ながら本会の場合は思い切ったりストラを行わないと組織力が生まれにくい状態にあります。組織体系、規約等の見直しを行い、各卒業期から2名の幹事を選出委嘱し、その中から日常業務を分担する常任幹事を選出し、そのまとめ役として幹事長を置く、典型的なスタイルを再検討する時期にあります。母校同窓会支部から独立して主体性をもった東京同窓会を設立した先輩諸氏の意を体して運営を継続してゆくべきであります。母校同窓会との二重会員性を踏まえた上で連携を更に強化してゆく必要があります。同窓会員の高齢化に伴い世代間差が広がる傾向がありますが、それが若者離れを促進しているとはいえません。同窓会を通じての交流に意義を認め気軽に一会員として自分のできる範囲で参加し協力できることを求めている若い会員が多くいるはずですから、私たちは彼らと共同作業ができることを確信しております。仮称「樽子山会」の老人会や、女性会員を含む「青年婦人部」の構想、そして趣味や教養を共有する会などを求める声も理解できますが、今は先ず組織の建て直しの時期であると思っておりますので、会員の皆様の一層のご理解と協力をお願いするしたいです。

能高就任にあたって

能代高等学校長 菊谷 一



東京同窓会の皆様には、母校の教育振興と在校生の激励のために、平素から特段のご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。前任の阿部校長の後任として、県高校教育課から転任してまいりました。前校長同様に、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。

就任早々に、同窓生各位から、貴重なご助言をいただきました。それを真摯に受け止めて、期待に添うべく、「学校週五日への対応」「大学進学の本質と量の拡大」「部活動の活性化」の3つの課題を先生方に示し、生徒のやる気を喚起し、本年度のスタートを切ったところであります。全力を尽くしてまいります所存であります。

少子化傾向が一層進み、県財政の逼迫した状況の下で、県教育委員会は今後の本県教育の方向を示す素案を発表しました。その中には能代市内5校の高校統合整備計画も含まれております。また、本校は来年度から、学級数を一つ減じて生徒募集することになりました。これらの新たな課題にも早々に対処しなければなりません。

全県一通学区となる来年度からはある意味で本校の真価が問われることとなります。本校の歴史と伝統を踏まえつつ、将来構想を検討していきたいと考えております。

東京同窓会の発展を祈念して、ご挨拶を申し上げます。

協賛広告まことにありがとうございました

晶特許事務所	3	山縣 輝輔	11
みちのく銀行	3	石川 正順	11
東京八竜会	4	印刷工芸	13
東京八重洲ホール	5	熊谷 洋三	13
関根カイロプラクティック院	5	東京山本会	13
熊谷 幸夫	7	能代高校第49期	13
オカベアート	7	素 道	14
大久保征輝	7	石嶋 喜直	14
豊田誠法律事務所	8	ナチュラル社	14
友 和	8	ホンマテクニカル	14
佐々木 章	9	税理士 小林武廣事務所	14
信太吉右衛門	9	ビジネスコンサルタント	14
斉藤司法書士事務所	9	能代高校第26期	15
納谷建築設計事務所	10	きくち	15
畠山 信孝	10	能代高等学校同窓会	16
大森太田印刷	11	※寄付 金谷芳郎 (敬称略)	

東京同窓会の更なる発展を

能代高等学校同窓会長 田中 仁純



東京同窓会の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。貴会の会報13号の小林肇前会長のインタビューを拝読致し、貴会の創立から今日までのご苦労が偲ばれました。板倉初代会長、そして中興の祖、小林前会長の事務局時代からの努力は他人のまね出来ないものであります。心より敬意を表します。そして現在の畠会長、時代に促した組織づくり、IT時代を先取りした進め方は、これまた私達の勉めねばならないものであります。本校体育館の前面に山田先生の揮毫になる校歌の掲額の寄贈、そして校舎前庭にそびえる、立派な一物をさげた男性像、「自在の像」と命名され、東方を指さしています。その方角はまさに東京であり、また青年の志をあらわす東方のかなたであります。本校は来年八十周年記念であります。寄付金のお願いや、

同窓会名簿でご迷惑をおかけしています。地元では生徒数の減少で、高校の再編問題が論議されております。町村合併と平行して大きく揺れ動きます。東京同窓会の本校への影響はまさに不滅であります。今後もご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

能代高等学校80周年記念事業

平成16年7月12日現在

1. 式典について
平成17年9月22日能代高校第一体育館において挙行します。
2. 実施・実現の事業
「施設設備の充実」
 - ①可搬形ジャンボヒーター購入
10台 1,798,500円(部活動・行事用)
 - ②コンテナハウス設置
3棟 2,205,000円(物品収納庫)
 - ③学校祭用パネル製作
30枚 1,018,500円
3. その他
「記念講演会」「芸術観賞会」等については、実施することとし、「講演者の人選」や「分野・演目」の検討をすすめています。

(能代高校同窓会提供)

秋高連総会

去る7月29日、在京秋田県高等学校東京同窓会連合会(秋高連)総会が市ヶ谷・グランドヒル市谷で行なわれ、能代高校東京同窓会からは8人が参加した。会場には、西村哲男秋田県副知事、小野清子国家公安委員長も来賓として出席、全県36校、約300名が相互に懇親を深めた。

舞台では、小林峰子副会長の日本舞踊や、鉄パイプを利用した尺八演奏など、様々なアトラクションが行なわれ、参加者を楽しませた(写真参照)。

なお、秋高連には能代高校東京同窓会の畠山信孝副会長が役員(副幹事長)として選出されている。



あなたの大切な知的財産権を守りましょう。

特許発明・実用新案・意匠創作・商標登録

著作権・不正競争防止

……相談 調査 鑑定 出願代理……

弁理士 畠 豊彦 第25期(新7期)



畠 特許事務所

〒231-0023 横浜市中区山下町24-7シティコート山下公園703

TEL. 045-227-7550 FAX. 045-227-7570

E-mail: BRB06442@nifty.ne.jp

みちのく銀行

頭取

原田和夫

〒030-8622

青森県青森市勝田1-3-1

TEL 017-774-1111

FAX 017-776-3807



29期



挨拶される19期 八木さん



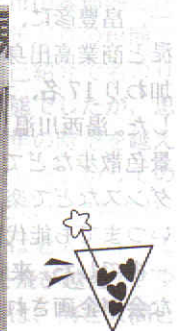
応援歌斉唱 63期 福本さん 62期 大高さん



インタビューする46期石井さん
42期加藤さんと16期熊谷さん



エールを送る元応援団長
45期 奈良さん



円さんと一緒にハイポーズ

第25期(新7期)

株式会社 東京八重洲ホール
社長 工藤 尊久

〒103-0027
東京都中央区日本橋3-4-13
TEL: 03-3201-3631
FAX: 03-3274-5111



URL: <http://www.yaesuhall.co.jp>



日本カイロプラクティック連盟認定会員
東京カイロプラクティック協同組合監事
全国キネシオテーピング協会指導員
東京都知事認可

はげ、虫歯、ガン、伝染病
以外は何でもOK。人生
100年になろうとしている
現在、健康を害しては
生きている甲斐がない。薬
剤では手におえない、事故
などの後遺症や生活習慣病
等で、医者に見捨てられた
方、おいでください。

カイロプラクター 関根市男
物理療法師 第29期(新11期)

関根カイロプラクティック院

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-8-5
グローリア宮益坂ビル 302号
TEL・FAX 03-3406-1189
携帯 090-8817-3652

H14年6月「魔法の手」を自費出版しました。

心は常に青春の仲間能代に集う

卒業50周年記念第24期生同期同窓会

第24期(新6期) 山縣 輝輔

7月3日(土)午後5時に能代市プラザ都で能代高校卒業50周年記念第24期生同期会が64名(内女性14名)の参加をえて盛大に開催されました。

司会の竹内宏氏の開催宣言後、開会の挨拶は金谷晴隆氏から、秋田県外(青森県を除く)から参加12名(首都圏から10名)の紹介を柴田郁氏から、次に司会から恩師渡辺金重先生と柴田重行先生の近況の紹介があり、次に司会から故人になられた同期生27名に対して黙祷を全員でささげ、校歌斉唱後、乾杯の音頭は、東京から参加の蓮沼の力強い発声に唱和し、会の雰囲気は一段と盛り上がりました。

50年振りにお会いする方々が多く、童心に返り能代弁も飛び交う話に花が咲きました。

樽子山の学び舎で過した日々の思い出、心は常に青春とその意気をいかに発揮し、ボランティアに励む人、趣味に生き甲斐を求め活躍する人、議会・教育委員会と会社等で現役で今も頑張っている人、マイペースの人等多士多彩な生き方について、古希の祝(昭和10年生まれ)の機会に、互いに近況と夢を語り楽しいひとときを過しました。

3時間にわたる長い間の和やかな談笑の後午後8時に中締め挨拶があり、同期会を企画した幹事への感謝と数年後、次の機会の再会を約し、今回出席出来なかった方々および出席者全員のご健康とご多幸を祈念し、一本締めで会を締めくくりました。

同期会での話で足りず二次会、三次会へと流れ、深夜迄、名残惜しく久しぶりの歓談に時のたつのも忘れ楽しい夜となったことでしょう。

10月2日(土)の能代高校東京同窓会に首都圏在住の第24期生が多数参加されることを祈ってペンを置きます。



能代高校24期生卒業50周年記念同期会(H16.7.3)

首都圏からの参加者は次の通り

田久保光一(A千葉) 畑江道弘(A埼玉) 児玉怜子(A埼玉) 蓮沼旬(B東京) 山縣輝輔(B神奈川) 栗生沢浄(B東京) 丸山範子(B千葉) 今村宏司(C神奈川) 畠山喜満(F埼玉) 伊藤正之助(F埼玉) 以上

我が期

雪の温泉郷で同期会

第25期(新7期) 畠 豊彦

私たち1955年卒業の会(55の会)第6回懇親会は、例により北高OGと合同で本年2月8日に雪の湯西川温泉で開催しました。幹事の栗原が絶対保障付き「安くて良いところ」と推奨しただけに、東京から往復送迎バスつきで1泊がなんと福沢諭吉様1枚で足りるという安さと、温泉はよし、雪景色はよしで、ご機嫌の同期会でした。男性は、港治、小貫実、北島茂、工藤尊久、那須秋男、大山定美、田中一男、平川明三郎、民谷恒二、三浦仙雄、町田次男、栗原俊一、畠豊彦に、沼津から田中秀、いわき市から柳谷湜と商業高出身の荒井広、鷹農高出身の石塚義夫が加わり17名、北高出身者が8名の計25名の盛況でした。湯西川温泉に着いた午後は、かまくら見物、雪景色散歩などでゆっくりし、大宴会後はカラオケ、ダンスなどで楽しみ、温泉に漬かってはまた呑んで、いつまでも能代弁で昔の話っこをしながら過ごした一夜でした。来年は、卒業50周年記念で一段と盛大な会が企画される予定です。



の同期会

我が同期会

第26期(新8期) 畠山 信孝



26期(新8期)第18回同期会 於：プラザ都にて

去る8月3日(火)午後6時より能代市柳町のプラザ都に於いて恒例の第18回同期会が開催されました。参加者は33名程でしたが、関東同期会からは北村祐三、佐々木章、松橋重美、佐々木高博、神山正子と、私、畠山と6名の参加でした。地元能代での同期会には初めての参加にて、能代市山本郡内に在住する同期生とは、正に卒業以来49年ぶりの再開でありました。加齢によりお互いに自己紹介で名のりを上げるまで誰が誰だか解らない状態でしたが、思い出話に花を咲かせている内に、49年の時空を越えて17~18才の自分達がそこにいました。かつての紅顔の悪童達も今は、よわい67才となり白髪あり、髪の毛のうすくなった者ありで外見は老人になっても、一瞬の内に49年の時間と空間を飛び越えて、少年時代に意識が戻って行くと言ふ事は、何と人間とは不思議な存在なんだろうと思いました。思い出は尽きず、夜ふけまで、親交を深めて参りました。毎年一人欠け、二人欠けして行く年令での同期会でしたが、お互いに長生きする事を誓い合い、そしてはげまし合いながら、又の再開を約束し、さりがたき旧友達との別れを、惜しみながらの散会でありました。

尚、翌日は同期で秋田市在住の鎌田弘の車で豊澤能代市長、母校能代高校の菊谷校長、松谷先生等表敬訪問し又途中、神田政直の定年後の経営するダン

スホール教室を見学したりして、秋田市に移動し、小野寺県教育長を表敬訪問した後、同期の秋田市在住の武田忠雄を見舞い訪問、元気な様子に安心したりして、今回の同期会の思い出を、胸にいだきつつ稲穂の出始めた、秋田を後にした次第です。

元気・同期・邁進

第29期(新11期) 宮腰 瑞夫

最近、日本人の平均寿命が男性78歳、女性85歳と報道された。同期の仲間は男性が14~15年(女性21~22年)の残存年数であるが、同期会に参加する面々は健康そのもので、それをはるかに越える勢いで活躍中である。

昭和34年、能代高校を卒業して国内外に散らばった仲間も既に定年を通過したが、今年も2月7日に第23回1・2・3同期会を新宿「北野水産」に18名参集し旧交を暖めた。

定年後、①継続組(石川・佐藤(晃)・佐藤(重)・清水・下間) ②再就職組(加賀・笹木) ③自営組(赤塚・大越・太田・大高・関根・宮腰(興)④模索・自適組(大塚・嶋田・長谷川・宮腰(瑞)・熊谷) 以上敬称略一と大別されるが、中でも勇往邁進する自営組の太田、関根は元気百倍、明朗闊達で、海外出張が多い宮腰(興)は話題豊富で、それぞれが同期会を盛り上げてくれる。

能代は市町村合併問題による市名改称で揺れており、少子高齢化による一部廃校が噂されているが、ふるさとの奮起を祈念します。



第30期(新12期)
能代高校東京同窓会

幹事 熊谷 幸夫
(能代市出身)

〒263-0051
千葉市稲毛区園生町158-1
TEL 043-287-6887

有限会社 オカベアート

フォトグラファー 岡部 忠

〒135-0044
江東区越中島1-3-1705
TEL 03-3641-0439
FAX 03-3641-0421

第28期(新10期)
能代高校東京同窓会

監事 大久保 征輝
(能代市富町出身)

〒330-0037
さいたま市東大成町2-191-507

『特集：これからの東京同窓会』アンケート結果

会報担当では、会報第14号の特集として「これからの東京同窓会」と題するアンケートを行いました(アンケートの内容は12頁に別掲)。

この種のアンケートは、大量の対象者に対し同時に行うのが普通ですが、東京同窓会の運営の現状をみたとき、運営の中心は役員と幹事の一部であることから、これらの中から12名の方を抽出して回答をお願いしました。貴重なご意見など極めて示唆に富む回答を寄せられました。もっと多数の者を対象とするアンケートとすべきであるのご意見もありました。そのとおりですが、この点は今後の東京同窓会の運営の中でより多くの会員の意見を吸収して実現していただくことをお願いしたいと考えます。以下にアンケート結果の略全文を設問ごとに紹介します。会員各位がこれからの東京同窓会を考える参考としていただくことができれば幸いです。

今回のアンケートに回答いただいたのは、次の皆さんです。

- 16期・熊谷洋三、24期・山縣輝輔、26期・畠山信孝、27期・石嶋喜直、
- 29期・太田勝治、32期・高田政勝、37期・若狭秀己、39期・菅原 涉、
- 45期・三浦 洋、45期・袴田邦夫、49期・田村盛仁、62期・大高忠勉

最初に、一般的な高校の同窓会と、「東京同窓会」という特定の団体についての理解・認識を尋ねてみました(以下、複数選択あり)。

これについては、二つの質問についてほぼ同じような回答が得られました。

(注)アンケート項目の正確な表現は別稿をご覧ください。

問1 一般的に「高校の同窓会」とはどんな団体？

- a 同じ高校で学んだ者同志の先輩後輩を通じた親睦会 ----- 8人
- b 同じ高校で学んだことを機縁としたネットワーク ----- 5人

c 同じ高校での先輩後輩の重層的な団体 - 1人

問2 「能代高校東京同窓会」はどんな団体？

- a 首都圏在住者の先輩後輩の親睦会 ----- 9人
- b 首都圏在住者のネットワーク ----- 4人
- c 首都圏在住者先輩後輩の重層的な団体 - 1人

次に能代高校東京同窓会は能代高校同窓会の支部ではなく、独立した団体であることについては、一人を除き全員が以前から知っているとのことでした。しかし、そのことがどういう意義を有するかということについては、多少考えが分かれる結果となっています。

第24期(新6期)

弁護士 豊田 誠
(琴丘町鹿渡出身)

豊田誠法律事務所

東京都渋谷区恵比寿4-4-2
クレスト恵比寿705
TEL 03-3443-3731
FAX 03-3443-3797

家庭用品の総合商社



株式会社 友和

代表取締役会長

小林 肇 第19期(旧19期)

本社 〒164-8610 東京都中野区中央 5-7-1
TEL 03-3383-2111(大代表)
FAX 03-3380-1181

おかげさまで
創業40周年



問3(省略・上掲参照)

問4 東京同窓会が独立の組織であることの意味は？

- a 本校同窓会と異なる独自性を発揮できる。----- 6人
- b 大きくみれば特別な意義はない。----- 2人
- c 会費や活動が重複しないように調整する必要あり。----- 5人
- d いずれでもない。----- 1人

(注) d を選択された方は「能代高校同窓会東京支部」について知らないからコメントできないということでした。

次に、各市町村に関わるふるさと会と東京同窓会との関わり方については二つの答えに分かれましたが、性格が異なるという点では考えが一致しているように考えられます。

問5

- a 比較の対象にならない。----- 6人
- b どちらも心の拠り所として大事にしていきたい。----- 8人

次に、東京同窓会の活動に積極的に関わって何年か、という設問に対しては、大半が10年以上の長期にわたっていることが明らかになりました。

問6

- a 10年以上----- 8人
- b 5年以上----- 1人
- c 1年以上----- 3人

この方たちが東京同窓会に関わられた最初の頃はどのような印象を持ったかという事に関しては、大半が親しみやすい印象を持っていたようでした。

問7 先輩後輩の山元にもうめ合会

- a 先輩、後輩の関係が厳しい会----- 1人
- b 先輩、後輩の關係に無関係な自由な会----- 2人
- c 先輩、後輩の關係に秩序がありながらも親しみやすい会----- 10人

さて、以下の問8から問12につきましては、皆さんからコメントをいただきました。

問8 能代高校東京同窓会の良いところは？

ご意見にみられるところでは、能代・山本という共通の地縁を持ち、自由な雰囲気の特徴といえることができます。

- ボスの存在がないこと。(石嶋)
- 親分の意向に左右されない自由な雰囲気(袴田)
- 能代高校に限ったことではないが、名誉、地位の違いを意識せず言葉を交わせる場であること。特に私の場合、能代を追われてきたのでこの意識が強かったかも。しかし、同期の近藤誠は私以上だった(熊谷)
- ほとんどの人が能代・山本の生活圏を共有ベースに持ち、16歳から18歳の高校生活を共有している連帯感から、初対面同士でも共通の話題があり、すぐ打ち解けることができる。(菅原)
- 各分野で仕事をされている同窓生との交流は、いろいろな面で有意義です。公私ともに情報を生かせれば、もっと会の発展につながると思います。(田村)
- 同じ高校で学んだ同志として親しみやすい人間関係が良いと思います。また、諸先輩方から得られる情報もとてもありがたく貴重なものと思います。(田村)
- 先輩達と交流でき、人生的にも勉強できる(大高)
- 母校愛で結束した東京同窓会は先輩後輩の別を問わず、気楽に話し合える会だと思います。(島山)
- 特に樽子山を知っている世代(新制29期まで)にとっては、新制、旧制を問わず不思議な一体感がある。逆を言えば、それより若い世代には、新旧のギャップを感じるかもしれない。(三浦)

第26期(新8期)
能代高校東京同窓会

幹事 佐々木 章
(八森町出身)

町田市山崎2130 山崎団地7-12-408
電話：042-792-8506
e-mail：a-sasaki.12-25@CORalocn.jp

関東峰浜ふるさと会

幹事長 信太吉右工門

〒240-0051
横浜市保土ヶ谷区上菅田町801
TEL 045-381-3364
FAX 045-381-3184

斉藤司法書士事務所

簡易訴訟代理関係業務取扱司法書士
認定番号 第101178号

司法書士・行政書士
斉藤 靖雄

〒179-0072 練馬区光が丘3-8-12-501
TEL 03-3976-7916
FAX 03-3976-7919
携帯 090-5542-5655

問9 総会を含めてより沢山の会員を結集させる方法

- 総じて、若い世代が参加しやすい会とするための工夫の必要性を痛感しているとみられます。
 - このことについては本当に難しい。自分で東京松稜会(硬式野球部OB会)の事務局を任されて痛感する。甲子園出場10回以上にならたらどうかわからないが。(熊谷)
 - 若い世代が参加しやすい形にする(石嶋)
 - ホームページも楽しいが、ポップな感じに変更し、若者を集う。(大高)
 - ゲスト企画、イベント企画を増やす(若狭)
 - 同窓会への参加意義と目的が年代によって違うように感じる。大きく区切って、各年代別の工夫が必要ではないかと思う。まずは参加して楽しかった、また来年も出てみたいと思ってもらうことが大事。(菅原)
 - 幹事会メンバーを中心に一人ひとりが積極的に参加を呼びかける。(大高)
 - 各期の同期会を活性化させることが大事です。それにはどうしたらいいか、論議を重ねたらいいと思います。次に趣味のサークルを作る(ゴルフ、サークルは大変に有意義でした。)(太田)
 - 自分の同期に会の良さを伝え、参加を呼びかける形が良いと思います。(田村)
 - (1) 会費を安くする。(2) 各期の幹事に集客させる。(3) 懇親会を簡素にして同期会を同時に行なえるよう配慮する。(袴田)
 - 各期の同期会を通じて横の結束を図り、同窓会の意義を同期の方々に教宣する必要があると考えます。(畠山)
 - 卒業してからではなく、在学中から本会の存在を十分に知らしめておくことが有効だと思う。(三浦)
- 問10 理想としての東京同窓会は？
- 「交流の場」と言えば少し多義的ですが、決して

- 特定の目的を望まない、そういう謙虚な理想像が浮かんでくるようです。立派な会同京東
- もっと、母校ニュースの発信が欲しい。それと分科会(ゴルフのような)の活動をもっと活発にして、会員間の日頃のコミュニケーションを活発にする。(石嶋)
 - 利害関係にとらわれない集まりは純粋に楽しめるもの。これをベースにしたコミュニケーションネットワーク、趣味別の分科会等の活動が活発になると更に交流が深まると思う。(菅原)
 - 親睦を兼ねて、情報交換の場でいいと思います。(太田)
 - 政治的な力を持たず、単なる親睦会としての存在を追求すべき(袴田)
 - 各世代(若年層～年配の方々)が楽しめる会(大高)
 - 集まっても楽しい会。今は飲んで食べるだけの会といえる。(若狭)
 - 能代高校卒業生というプライドを保ちながら、いろんな意味での人間的交流の場とし、お互いに成長でき、学べる場としたいです。(田村)
 - 老若男女、和気藹々として母校愛を高める同窓会であって欲しいと願っております。(畠山)
 - 卒業後上京した際には、一度は参加してみたいと思わせるような会にしたい。(三浦)
 - 私の経験からすれば、会費0にすれば、と考えたこともあったが、どだいこんなことはできないし悩むところ。と同時にこれは若い方たちで。(熊谷)

問11 能代高校東京同窓会の改善すべき点

- 組織構成、運営企画について様々な課題が指摘されています。まず、こうしたことの是非について検討してもらうことが肝要でしょうか？
- (組織・構成面)
- 事務局の仕事を会長に任せるのではなく、幹事長ポストをつくってそちらにすべてを任せたいほうがいいと思います(役割分担をはっきりさせて、実

納谷建築設計事務所

第49期 納谷学
第54期 納谷新

〒211-0002
川崎市中原区上丸子山王町2-1376-1F
TEL 044-411-7934
FAX 044-411-7935
<http://www.f2.dion.ne.jp/~m-a.naya/>

東京地区秋田県人会連合会 理事
秋田県八竜町 東京八竜会 副会長
在京秋田県高校同窓会連合会 副幹事長
秋田県立能代高等学校東京同窓会

副会長 畠山 信孝
第26期(新8期)

〒228-0024
神奈川県座間市入谷4-6-1
東建座間ハイツ1-905
TEL・FAX 046-256-6361
東京同窓会ホームページ
<http://homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/>

行することです。)(太田)

○①各期を通じて組織化を図ること②同窓会参加者の年々の増加を図り、運営に足る財政を確保すること(畠山)

○①幹事会に出席できない幹事は交替すべき。(私も含まれます。)②女性会員の確保が必要。これから数年後、会の存続にも影響を与えかねない。③本校と東京の会費の二重構造を是正し、会費の負担を減らすこと。(三浦)

(運営・企画画)

○①参加する人たちは何を求めているのか、実際わかっていない。②「主催者側の立場でなかったら毎年参加することはない」と総会出席で感じる。③予算の余裕のなさ(一部の人たちの負担に委ねていることも含めて)懸念がある。(若狭)

○一度出たのにその後は欠席という人が大変多い。理由はつまらなかったとのこと。その大半は親しく話せる友人がいなかったからと言う。新しい参加者に翌年も参加したいと思わせる(歩留まりを高くする)工夫が必要。(菅原)

○現役世代の参加人数のアップを図りたいが、30代、40代は会社と家庭に追われ、時間的余裕と金銭的余裕がないことも原因と考えられる。上記の方々にメリットある提案をできたら良いと考える。(太高)

○若い人たちを集わせることが課題だと思います。矛盾しますが、単なる親睦会を超えてネットワークの一員として参加する意義を感じられる会になれば良いと思いますが、現実には難しい事だと思います。(袴田)

○高齢化の問題。もう少し開かれたオープンな場になりたい。(田村)

○特になし。私自身はこのままでいいから参加だけはさせて欲しい。(熊谷)

問12 その他の提言

最後に、皆さんからの提言ですが、役割分担の徹底、分科会的構想が顕著なように見受けられます。さて、皆さんは如何でしょうか？

○古い先短い、何を今更と言われるかもしれませんが、「母校愛」の意識が少し欠けているのでは。然らば如何にすれば？正直に言って私の「母校愛」は能代高校野球部の存在があればこそで、順序として東京同窓会が先か、野球部が先かの相違だけで、行き着く先は同じです。(熊谷)

(役割分担・役員活動期待)

○会長に全てを任せるのは残酷です。役割分担をはっきりさせる。(太田)

○このアンケートの件ですが、12名というのは少ないような気がします。最低でも、幹事・役員全員にお願いしたほうがより幅広い意見が出てくるのではないのでしょうか？(太田)

○この活動に寄与してもらえる会員の確保を図ると共に、幹事会全体で構成・内容について話し合う必要があると思います。(三浦)

○総会参加者を300名くらいにすることを一つの目標として(大館鳳鳴さんなみに)各期幹事、各役員活動が必要ではなからうか。(畠山)

(分科会的構想)

○①同窓会の中に「能球会」という趣味の集まりのサークルがあるように、もっと有志でいろいろなサークルができてよいと思います。②青年婦人部会のような若手や女性が参加しやすい環境作りを行なうことも必要かと思えます。例えば、興味のある有志同志で勉強会とか定期的公演会とか文化的交流もあっても良いのではと思います。(田村)

○①総会に参加して、その場で十分満足させる。②参加後も何か生まれる。(ゴルフなど分科会も一つだが)、の会になるよう再考しないとジリ貧になると思います。(若狭)

○青年部とかシニア部(年寄りクラブ?)等を作り、

長い間に集積してきた貴方自身の趣味・研究成果・生活記録等を一冊の本、あるいはCD・ROM等に集大成してみませんか？
原稿の整理やまとめ方など、又予算等もご相談に応じています。お気軽に何でもどうぞ。



企画・デザイン・編集から印刷・製本まで

大森太田印刷有限公司

太田 勝治

第29期(新11期)琴丘町鹿渡出身

〒143-0015 東京都大田区大森西2-15-21
電話 03-3765-1779 FAX03-3766-1228
E-mail : fwis4529@mb.infoweb.ne.jp
http://homepage2.nifty.com/ota-p/

第24期(新6期)

山縣 輝輔

〒216-0004
川崎市宮前区鷺沼4-1-9
TEL 044-877-0575
FAX 044-877-0575

第29期(新11期)

石川 正順

〒298-0004
千葉県夷隅郡大原町大原6708-9
TEL 0470-62-3282
FAX 0470-62-3282

会の活性化を図るようにしたら良いと思う。(畠山)
 ○若い人の発想で自由にやらせたら良いと思います。
 お金を集めても結局懇親会で大部分消費してしまうのは勿体無いと思います。何かアイデアがあるかと問われれば何も浮かばないのです。(袴田)

○本校同窓会と東京同窓会との二重会員制を、今後は改めることが課題ではなからうか。(畠山)
 ○ホームページは内容を常に更新しなければその価値が半減します。(三浦)

『これからの東京同窓会』アンケート全文

※多岐選択可。該当する記号は、○で囲んでください。

1. 一般的に「高校の同窓会」とは、どんな団体だとお考えですか？(該当する記号を○で囲んでください。)

- a 同じ高校で学んだ者同志の先輩後輩を通じた親睦会
- b 同じ高校で学んだことを機縁として結ばれたネットワーク
- c 同じ高校での先輩後輩の関係を重層的に維持する団体
- d a, b, cのいずれでもない団体

(注)dの場合は、次にお考えを簡単に記してください。

()

2. 「能代高校東京同窓会」は、どんな団体だとお考えですか？

- a 首都圏に在住する者同志の先輩後輩を通じた親睦会
- b 首都圏に在住する者同志のネットワーク
- c 首都圏に在住する者同志の先輩後輩を重層的に維持する団体
- d a, b, cのいずれでもない団体

(注)dの場合は、次にお考えを簡単に記してください。

()

3. 「能代高校東京同窓会」は、能代高校同窓会の東京支部ではありませんが、このことを知ったのはいつからですか？

- a 以前から知っている。
- b 最近知った。
- c このアンケートで知った。

4. 「能代高校東京同窓会」は、組織的には高校同窓会の東京支部ではないことは、東京同窓会の活動にとってどのような意味があるとお考えですか？

- a 首都圏に在住する者の団体として能代高校同窓会とは別個に活動できるので、独自性が発揮できて良い。
- b 大きく見れば能代高校と同様の活動を行う会であり、特別な意味はない。
- c 首都圏在住の会員は双方の同窓会に重複して加入していることになるから会費や活動などが重複しないように調整した方が良い。
- d a, b, cのいずれでもない。

(注)dの場合は、次にご意見を記入してください。

()

5. 「ふるさと会」に加入されている首都圏在住会員も沢山おられますが、東京同窓会と「ふるさと会」とでは、参加する心構えに異なるものがありますか。

- a 参加の基本となる資格が全く異なり、会の性格も異なるので比較の対象にならない。
- b どちらも能代市や山本郡内の町村という地縁による団体であり、ともに現在首都圏に在住することにより参加しているのだから、基本的な違いはない。
- c 東京同窓会と「ふるさと会」とは性格が異なるが、いずれにしても首都圏在住者としては心の拠りどころとなるものであるから大事にしていきたい。
- d a, b, cのいずれでもない。

(注)dの場合は、次にご意見を記入してください。

()

6. 「能代高校東京同窓会」に参加されてから何年になりますか。

- a 10年以上になる。
- b 5年以上になる。
- c 1年以上になる。
- d まだ、1年程度である。
- e a, b, c, dのいずれでもない。

(注)eの場合は、次に理由を記してください。

()

7. 「能代高校東京同窓会」に参加された頃は、会及び会の活動についてどういうイメージをお持ちになりましたか？

- a 先輩後輩の関係に厳しい会だと思った。
- b 先輩後輩の関係に無関係な自由な会だと思った。
- c 先輩後輩の関係に適度な秩序がありながらも親しみ易い会だと思った。
- d a, b, c, dのいずれでもない。

(注)dの場合は、次にご意見を簡単に述べてください。

()

8. 「能代高校東京同窓会」の良いところは、どういうところだと思いますか？次に簡単にお考えを記してください。

9. 「能代高校東京同窓会」は、毎年1回総会を開催していますが、会員の参加者は100名前後の範囲です。総会参加も含めて首都圏のもっと多くの会員を集結させるには、どのようにすればよいかとお考えでしょうか？次にお考えを簡単に記してください。

10. 理想としては「能代高校東京同窓会」をどういう会にしたいとお考えでしょうか？次に簡単に記して下さい。

11. 「能代高校東京同窓会」にとって、現在のところ改善すべき大きな課題は何であるとお考えでしょうか。次に、ご意見を簡単に記してください。

12. 以上の各項目以外に、「能代高校東京同窓会」の今後について、何かご意見がありましたら、述べてください。

「能代」の名前が消えそうです!

一能代山本市町村合併により一

藤里町を除く能代山本七市町村の合併協議が進展していますが、まもなく新市名を決定する日が近づいてきています。

新市は来年3月31日の発足を目指していますが、新市名のほうは8月30日に決定するというスケジュールになっていますから、この会報が同窓生の諸氏に届く頃はもう決定をみているかもしれません。

新市名は、合併する七市町村の既往の名前は使わないことを条件に一般公募し、その中から一般投票や名称選考小委員会の委員による投票により決定されます。

最終投票は、最終選考候補10作品の中から、会長及び委員36名が一人1作品を投票し、3分2以上の票を得た作品を新市の名称として決定することになります。

これまで公開されている有力4市名の選考理由を得票数順にご紹介します。

『白神市』(しらかみし)

太古からの息吹を脈々と受け継いでいる世界遺産「白神山地」は、日本はもとより世界的にも知名度が高く、この麓に位置する新市が「白神」の名称を冠することにより、国内外へ広くアピールできるほか、地域ブランドとしての利活用等による経済波及効果は極めて大きいものがある。

また、新市のほぼ全域から白神山地を仰ぎ見ることができ、すべての住民が共有でき、日頃から慣れ親しんだ呼称であるとともに、響きが良く、書きやすいなど新市の名称としてふさわしい。

『米代市』(よねしろし)

7市町村のほぼ中央を流れる米代川は、能代平野の穀倉地帯を肥やし、天然秋田杉等の森林資源や農産物の搬出、沿岸地域との交易など永きにわたり地域の人々の生活を潤してきた。流域市町村の合併ということで住民が慣れ親しんだ呼称であり、地理的にも容易に理解できるほか、歴史的・文化的な背景や知名度を考へても新市の名称としてふさわしい。また、米代川の流れるように和をもって一つにまとまり、よどみなく発展してほしいという願いが込められている。

『北都市』(ほくとし)

新市は秋田県の北部に位置し、県北地区では最大の人口を有する市となることから、政治・経済・文化の中核的都市としてふさわしい名称である。

また、7市町村を北斗七星にたとえ、合併してもそれぞれの輝きを失わず、結束してさらに発展してほしいという願いが込められている。

『あきた白神市』(あきたしらかみし)

世界遺産「白神山地」の南麓に位置するというので、「あきた」を冠し、青森県側と区別した。新市の内外に向けたアピール度と、ネームバリューを最大限に活用した様々な施策等の効果が期待できる。

また、新市の将来像「大いなる自然と大地の恵み、夢あふれる創造と協働の都市(まち)」にも合致しており、自然と人生との共生のシンボルとして、新市の名称にふさわしい。

このほかの候補名は次のとおりです(いずれも獲得得票は1票です)。

秋田白神市、しらかみ市、北羽市、七郷市、七里市、よねしろ市

(注) 解説文は能代山本七市町村合併協議会HPより転載

株式会社 印刷工芸

代表取締役 **北島 茂**

(第25期)

〒124-0022
東京都葛飾区奥戸5-4-5
TEL 03-3694-0540
FAX 03-3694-0567

貸室業 (店舗・事務所・アパート)

管理者 **熊谷 洋三**

(第16期)

〒160-0001
新宿区片町2-3 エステート紺ビル
新宿区荒木町9-15 上田ビル
TEL03-3355-2029
自宅 TEL・FAX 03-3878-0215

東京山本会

第26期 (新8期) 板倉 富弥

第29期 (新11期) 石川 正順

第37期 (新19期) 若狭 秀己

第39期 (新21期) 菅原 涉

第45期 (新27期) 三浦 洋

幹事長 **石川 正順**

TEL・FAX 0470-62-3282

能代高第49期(新31期)有志

(能代二中29期同期会一同)

大高 満郎 谷田部三雄

田口 光彦 武田 吉彦

佐藤 直人 三国 泰弘

納谷 学 山田 清勝

片谷 浩之 田村 盛仁

佐藤 才輔 松永 京子

(旧姓三輪)

佐藤 良孝 大橋 園子

(旧姓淀縄)

同窓生のプロフィール作成ご協力をお願い

一昨年の総会以降、出席の皆さんの簡単なプロフィールが分かる資料として「同窓生のプロフィール」を作成して配布していますが、毎年大変好評です。そこで今年も継続致します。これまでは遠慮して原稿を出さなかった方も同封の**登録用紙の提出**を是非お願い致します。また記載内容を変更したい方も遠慮なく送って下さい。

隣の人がどの様な人かが分かると、話にもっと花が咲き盛り上がること請け合いです。プロフィール表には自宅電話の記載はしない、現住所も一部分の記載にとどめる等、皆さんのプライバシーには十分配慮しておりますので、遠慮なく原稿を送って下さい。(登録用紙の裏に旧年度版からの抜粋を参考として載せております)

登録用紙の該当する各項目に記入して頂き、FAX(コンビニからも送れますよ)又はEメール(箇条書きで結構です)で返信頂けます様をお願い致します。

Eメールの有る方はメールの方がありがたいです。

総会開催日の1週間前までに到着した分は必ず資料に掲載させて頂きます。

担当：副会長 菅原 渉(通期39期・新制21期)

Eメール：daiopr@mx5.ttcn.ne.jp

有限会社 **素道**
 事業内容 ・土壌浄化 ・水質浄化
 ・新容器開発
 代表取締役 **若狭 秀己**
 携帯：080-1140-9551
 E-mail：vek03527@nifty.ne.jp

第27期(新9期)
 能代高校東京同窓会
 副会長 **石嶋 喜直**
 (八森町出身)
 〒248-0002
 鎌倉市二階堂773-138
 電話 0467-24-5605

健康食品
 健康機器
 介護用品
 整 備
ナチュラル社
 NPO日本成人病予防協会認定
 健康管理士一般指導員
 サプリメント管理士
大塚 忠 雉
 〒016-0891 能代市西通町14-18
 TEL 0185-53-5605
 FAX 020-4665-8501
<http://www.shirakami.or.jp/~natural/>

志育ビル管理
 (同一会館同階)
(株)ホンマテクニカル
 代表取締役
本間 義章
 〒167-0051
 東京都杉並区荻窪5-30-12-510
 TEL 03-3391-7001(代表)
 FAX 03-3391-7060
 携 帯 090-3247-1770

第31期(新13期)
会本山京東
 親切・親身な税務相談
 税務争訟や成年後見も扱います
 お困りの方は一度是非!
 税理士 **小林武廣事務所**
 〒154-0003
 東京都目黒区祐天寺2-12-19
 山寺ビル302号室
 TEL:03(5725)1881 FAX:03(5725)1882
 e-mail：naa03160@nifty.com
http://homepage2.nifty.com/tk_jimusyo/index.htm

第34期(新16期)
株式会社
ビジネスコンサルタント
 代表取締役
 会長 **斎藤 彰悟**
 〒104-0028
 東京都中央区八重洲2-2-1
 住友生命八重洲ビル
 TEL 03-3274-2591
 FAX 03-3281-4353

平成16年度 収支予算

平成15年10月1日～平成16年9月30日

収入の部			支出の部		
項目	金額	備考	項目	金額	備考(前年度実績)
1.総会費	850,000	120名×7000他	1.総会費	580,000	(580,720)
2.年会費	450,000	150名×3000	2.会報費	300,000	(337,050)
3.寄付金	100,000		3.通信費	200,000	(216,256)
4.会報広告代	300,000		4.広告費	85,000	(85,100)
5.預金利息	98		5.交流費	300,000	(300,000)
			6.事務費	30,000	(27,120)
			7.雑費	40,000	(21,055)
収入合計	1,700,098		支出合計	1,535,000	(1,567,301)
			当年度残高	165,098	
			前年度繰越	604,105	
			次年度繰越	769,203	

平成15年度 収支決算報告書

平成14年10月1日～平成15年9月30日

収入の部			支出の部		
項目	金額	備考	項目	金額	前年度実績
1.総会費	754,000	会員87名祝い金含む	1.総会費	580,720	1,105,447
2.年会費	432,000	144名	2.会報費	337,050	258,300
3.寄付金	109,000		3.通信費	216,256	267,810
4.会報広告代	291,450		4.広告費	85,100	65,730
5.未収金	90,000	会報広告代	5.交流費	300,000	173,280
6.預金利息	98		6.事務費	27,120	7,206
			7.雑費	21,055	30,000
					名簿整理費含み
収入合計	1,676,548		支出合計	1,567,301	1,907,773

平成15年度 能代高校東京同窓会の会計について監査の結果、適正に処理されていることを確認しました。以上を報告します。

平成15年9月30日

当年度残高	109,247
前年度繰越	494,858
次年度繰越	604,105

能代高校東京同窓会 会計監事 大久保 征輝 印

能代高校第26期(新8期)

有志一同

佐藤 五郎
野呂 文雄
京極 和典
鎌田 吉郎
馬場 入り

御徒町で同窓生に会える店

第43期(新制25期)

ふぐ・季節料理

きくち
菊池 忠夫

〒110-0005
東京都台東区上野6-6-4 デュークビル1F
JR御徒町駅より歩いて3分位
電話 03-3839-3382
e-mail : fugu-kikuchi@mrg.biglobe.ne.jp



白神山地(藤里町)出身

<http://www.5b.biglobe.ne.jp/~fugu-ki/>

<http://homepage2.nifty.com/shoryo-tokyo/g2kikuchi.html>

平成15年度 同窓会会員出席者名簿

【13期】勝永金一【16】熊谷洋三【19】八木喜徳郎、小林 肇【20】小田島朗【22】村井克自【23】矢口裕【24】小山 黎子、畑江道弘【25】小貫 實、北島 茂、工藤尊久、栗原俊一、民谷恒二、畠 豊彦、平川明三郎、港 治【26】岩 見尚夫、神山正子、北村祐三、佐々木章、佐藤五郎、野呂文雄、畠山信孝、松橋重美、宮腰英彌、八柳昭義、京極和典【27】石嶋喜直、大村真陸郎、後藤信義、小林林造、原 稔、檜森 寛【28】石川輔宏、大久保征輝【29】赤塚鉄男、石川正 順、太田勝治、清水武久、関根市男、宮腰興紀、宮腰瑞夫【30】熊谷幸夫【31】小島二郎、小林武廣、城野攻一、熊谷 博雄【32】高田政勝、高橋邦次、高谷 誠、松橋 厚、菅 紀夫【35】川添能夫、平川徳道、平沢正知、干場革治【36】加藤和海【37】松岡 仁、若狭秀己【39】大塚 進、菅原 渉【40】小林 哲、智田 農【41】小河範也【42】加藤正 人【43】菊池忠夫、須藤正喜、高橋敦子【44】庄内俊憲【45】奈良博文、袴田邦夫、平野信任、眞崎 裕、三浦 洋【46】石井 喬、斉藤靖雄、吉田真由美【47】和平忠幸【49】片谷浩之、田村盛仁、本間邦弘、松永京子【53】吉田 順、堀 内 博【62】大高忠勉【63】福本 円

以上計87名

平成15年度 同窓会年会費納入者名簿

【9期】中田友也【12】平泉 修【18】愛沢鉄治【20】小野 喬、吉田 裕【23】矢口 裕、清水良二、三田 登【24】木村信逸、山縣輝輔、田中徹衛【25】大山定美、岡部 忠、小貫 實、唐津光成、北島 茂、工藤尊久、栗原俊一、小山 哲道、田中 秀、民谷恒二、那須秋男、畠 豊彦、平川明三郎、町田次男、港 治、森田恒明、柳谷 湜【26】岩見尚夫、神山正子、北村祐三、京極和典、佐々木章、三浦陸男、佐藤五郎、野呂文雄、畠山信孝、馬場ノリ、原田力次、松橋重美、宮腰英彌、八柳昭義、米森三太郎、斉藤史郎、今立甲矢雄【27】石嶋喜直、大村真陸郎、後藤信義、小林林造、斉藤秀夫、原 稔、檜森 寛、山田邦夫、川井芳成、田村豊成【28】石川輔宏、大久保征輝、須田正己、三浦義輝、越後政明、穴 山勝良【29】赤塚鉄男、石川正順、太田勝治、嶋田雄右、清水武久、関根市男、塚本祝永、中田龍一、宮腰興紀、宮腰瑞 夫【30】熊谷幸夫、佐々木庸、若林剛造【31】大倉報三、小島二郎、小林武廣、城野攻一、熊谷博雄、檜森 隆【32】磯 部 博、越前谷明則、菊池 豊、高田政勝、高橋邦次、高谷 誠、松橋 厚、森 喬夫、菅 紀夫【33】伊藤民子、武田 功【35】川添能夫、平川徳道、平沢正知、干場革治、横田真理子【36】男鹿谷浩市、加藤和海、武田忠克、深井 学【37】今野広隆、小林雅夫、坂田静子、松岡 仁、若狭秀己、小野津世子【38】佐藤春香【39】大塚 進、菅原 渉、田 村 猛【40】熊沢朝子、小林 哲、智田 農【41】小河範也【42】加藤正人【43】菊池忠夫、須藤正喜、高橋敦子、高 松芳則、渡辺博栄【44】庄内俊憲【45】奈良博文、鎌田泰宏、高松武史、袴田邦夫、平野信任、眞崎 裕、三浦 洋、【46】石井 喬、斉藤靖雄、吉田真由美【47】和平忠幸【49】片谷浩之、田村盛仁、本間邦弘、松永京子【53】吉田 順、堀 内 博【62】大高忠勉、板倉富弥【63】福本 円

計141名

会報中の氏名に付した期は、通算の卒業期を表します。

◆◆ 編集後記 ◆◆

今号は、正直言ってハプニング続きの中での編集で苦勞した。いや、苦勞したのは実は編集者ではなくて 会長や会報印刷を受け持つ太田勝治先輩の皆さんである。この点、今号の実質的編集者であるお二人にお 詫び申し上げますと共に心よりの感謝を申し上げたい。しかし、会報をこのスタイルにして2年目、いろいろの角度から同窓会活動を取り上げたいと思って企画 しているが、企画の意図が十分に伝わらないこともある。この点はこれから改めてゆくことができ、そう して総会や同窓会に沢山の会員が結集できれば嬉しいことである。

秋田県立能代高等学校同窓会

〒016-0184 秋田県能代市字高埜2-1
電話 0185-54-2230
Eメールアドレス：n7923shi@shirakami.or.jp

顧問 佐々木 満(15期)
会長 田中 仁純(25期)
副会長 田口善一郎(16期) 続 隆(21期) 柴田 郁(24期)
工藤 茂宣(30期) 畠山 良子(30期) 山田 孝行(32期)
飯坂 誠悦(35期) 柴田 寛彦(37期)
会計監事 大阪 昇一(23期) 佐藤 浩嗣(30期) 佐々木雅昭(40期)

能代高校東京同窓会 会報 第14号

発行 能代高校東京同窓会
発行責任者 会長 畠 豊彦(25期)
編集責任者 副会長 小林武廣(31期)
印刷 大森太田印刷有限公司
代表取締役 太田 勝治(29期)
■東京同窓会に関するお問い合わせ・連絡先
〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町24-7
シティコート山下公園703
皇特許事務所内
能代高校東京同窓会事務局
TEL 045-227-7550
FAX 045-227-7570
E-mail: BRB06442@nifty.ne.jp
※ 郵便局払込口座番号 00150-7-27459
(年会費等)
※ 入会・転居・訃報等は上記事務局まで連絡して ください。